

## 1 指定管理施設の概要

施設名	東舞鶴公園、泉源寺公園、前島みなと公園、舞鶴文化公園、伊佐津川運動公園、東体育館		
指定管理者	舞鶴スポーツネットワーク		
設置目的	市民が、生涯にわたりスポーツ活動に親しみ、様々なスポーツ・レクリエーション活動を行える施設として、また、市民ニーズに対応した各種スポーツ事業等の実施を通じて市民のスポーツ活動の振興を図り、健康の維持増進に資する施設として、さらには、大会誘致、合宿誘致などスポーツの観光交流を積極的に推進し、スポーツを通じた地域づくりに資する施設として、施設を拠点とした戦略的なスポーツ事業の展開を行うため。また、来園者に憩いの場、レクリエーションの場を提供するため。		
選定方法	公募・非公募	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	市民文化環境部文化スポーツ室スポーツ振興課、建設部土木課		

## 2 利用状況等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	315,654	214,589	328,017		
利用料金(円)	48,738,998	29,826,549	41,645,166		
指定管理料(円)	78,315,000	80,862,000	75,408,000		

## 3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
利用人数	320,000人	355,000人	328,017人	92%
自主事業の実施回数	100回(延べ1,200回)	1,200回	997回	83%

## 4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	41,645,166	人件費	82,595,377
指定管理料	75,408,000	維持管理費	21,852,807
事業収入	7,612,279	事業費	5,327,403
その他	4,524,142	その他	43,520,366
合計	129,189,587	合計	153,295,953
差額			△24,106,366

## 5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	コロナ禍の影響等により利用者数、自主事業実施回数共に目標には届かなかったが、流動的に変動するコロナ情勢に柔軟に対応し、ワクチン接種会場として利用された体育館に限らず令和2年度に比べ大幅に利用者数が増加しており、市民のスポーツ活動再開に貢献していただいた。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	コロナ禍という特殊な状況下において、感染症対策を行い利用者の立場に立った管理運営を行い、利用者の回復・増加につなげ、子どもからお年寄りまで、また健康づくりから競技スポーツまで、幅広くスポーツの普及・振興に資する運営が行われた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	適切な管理運営により、市民の生涯スポーツの実施環境の提供や、スポーツ事業の実施、各種大会の開催、憩いの場としての公園施設の提供などが行われた。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	○	コロナワクチン接種会場として体育館を事業に利用できなかったことや、コロナ禍の利用制限の影響により計画どおりといかない部分もあったが、その条件下で積極的に取り組まれた。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	コロナ禍において利用制限など影響がある中、目標にはやや届かなかったものの、適切な管理運営により令和2年度に比べ大幅に利用者が増加している。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	○	大きな苦情やトラブルも無く、利用者が増加する施設もあり、良好に管理運営されたものとする。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	幅広いアンケートの実施(QRコード+紙)など、現場において、意見・要望の把握に積極的に取り組まれた。

利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	苦情は、その都度市に報告され必要に応じ協議を行い、適切に対応された。
<b>(3) 管理運営の効率性</b>		
経費の節減が図られたか	△	柔軟なシフトコントロールや、スタッフのコスト意識向上、省エネの取組、スタッフによる修繕など、経費削減の取組を実施されているが、人件費が令和2年度に引き続き計画を大幅に超過している。
委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	◎	消耗品等について在庫管理から発注まで全施設分を集中管理することで、経費の削減が図られた。
収入増加のための取組が行われたか	○	幅広い年代の多様なニーズに応える教室やイベントの開催、物販、広報等（SNSも導入）を実施している。
<b>(4) 適正な管理運営</b>		
適切な人員配置が行われたか	△	施設の管理運営に問題はないが、人件費が計画値に比して高額となっている。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	定期的な研修により各個人のスキルアップが図られた。
施設の平等な利用が行われたか	○	条例、規則等に基づく平等な利用が行われた。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	個人情報の管理は適切に行われた。
情報の公開が適切に行われたか	○	HPや窓口などで適切に情報提供がなされた。
収支状況や会計処理が適切か	△	会計処理等に不備はないが、収支が大幅な赤字となっている。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	適切に行われた。
備品等の管理が適切に行われたか	○	点検票により定期的に点検が行われ、台帳はデータ等により適切に管理されている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	体制整備やマニュアルの作成、研修の実施など安全対策等は十分に図られた。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	適正に行われた。
<b>(5) その他コメント</b>		
サービス向上	コロナ禍の影響により時短や閉館があり、またコロナ対策が求められる難しい状況の中、国や府市の方針に柔軟に対応し、利用者との円滑な調整や広報を行われ、利用者が安全、安心に利用できる環境を確保されたことが利用者数に反映されたものとする。体育館をワクチン接種会場として市が利用する際も、柔軟、的確に対応いただいた。イベント・大会等を含むスポーツ活動が再開される中で、今後もニーズ調査や対応の充実に努め、ウィズコロナに対応した運営方法、利用促進に努めてほしい。	
経費削減	省エネ、省資源の取組やシフトコントロール、軽微な作業の自主実施、備品管理や発注のシステム化など、自社のソフト・ハード両面の強みを活用して経費の節減に努められている。人件費が計画値に比して高い状況も含め、今後も引き続き、更なる経費の削減に努めてほしい。	
施設の維持・管理	スポーツ施設、公園施設ともに適切な維持管理が行われた。文化公園体育館及び東体育館、泉源寺多目的施設のLED化や各種工事等にも適切に対応されている。施設の老朽化が進む中、適切な日常点検・維持管理を行うと共に、市との情報共有に努め、最小限の経費で効率的、効果的な維持管理運営に努めてほしい。	

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

## 6 選定委員会による評価

評価点	3点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5:良い、4:やや良い、3:普通、2:やや悪い、1:悪い
総評	多額の赤字計上となったことは残念だが、コロナ禍の中で利用人数が東舞鶴公園以外は増加したことは評価する。今後利用者が増加すると思われるので、引き続き努力をお願いしたい。赤字の理由の説明や対処について、分かりやすく説明をして欲しい。	

《参考》 過年度の評価点

令和元年度	令和2年度	令和3年度	年度	平均
3.5点	2.66点			3.08点